

猛獸に對しては敵に對する顧慮なければ燈火をつけ焚火するとよい、毒蛇を見付けたら必ず殺して肝を呑み肉は焼いて食へ、之に優る強壯藥はない。

5. 炊事用の燃料

マングローブといふ木は生木のまゝ良く燃える。其の他椰子の實の外皮、甘蔗藪、榎等も燃料として利用する事が出来る。

6. 兵器を盗まれぬな

疲れて眠ると兵器の置き場も忘れ勝ちになり土民に盗まれる事にもなるから軍の威信の爲にも注意しなければならぬ。

八、搜索警戒

1. 油断は大敵

暑さにウダッて身體は綿の様に疲れ、日射病にも辛うじて堪へ宿營地につき、やれ一休みと思ふ間もなく歩哨に巡察に、斥候に新しい重大任務が課せられる、敵は勝手知った土地で準備して待つて居るから我に少しでも隙があると反撃、待伏せ等をやる事が出来る、全軍を休ます爲には疲れた身體に鞭打ちで立ち常日頃より眼を光らし耳をそばだて、警戒に搜索に、任務を完うしなければならぬ。

2. 歩哨に立つたら

場所をよく選んで風通しの良い所で直射日光を避ける爲に必要な設備をなし出来るだけ背囊等を降して肩を軽くする代りに全軍の安危を擔つて立つ責任を忘れてはならぬ。

3. 斥候を出すには

成るべく自轉車等を利用し、輕装させる事が必要である、土民を道案内に

搜索警戒

四一

0342

したり情報を探らせたりする事は有利ではあるがよく嘘をつき、或は言葉が通じない爲に誤解を起す事が多い。又つまらぬ流言を信じ雷同し易いから絶えず其の動向に細心の注意を拂ふ事が必要である。

九、戦 闘

1. 長い船旅も暑い行軍も此の一戦の爲

上陸して敵にぶつかつたら親の仇にめぐり合つたと思へ、長い苦しい船の旅や暑い劇しい行軍も唯此の敵を破る爲の道草であつた、鬱憤を晴らすのは此の敵だ、徹底的に殲滅しなければ腹の蟲が納まらぬ、特に精戦が大切だ。

2. スコール(猛夕立)と霧と夜とは我等の味方

西洋人はハイカラで柔弱で臆病であるから雨と霧と夜の戦さは大嫌ひである、特に夜はダンスをするが戦さをするものとは考へて居らぬ、我等の乗す